

2009年度わが国貿易収支、経常収支の見通し(商品別輸入)

平成20年12月5日(金)

輸入	2007年度 (実績)		2008年度 (見込み)				2009年度 (見通し)		コメント		
	10億円	伸率%	上半期 (実績)		下半期 (見込み)		10億円	伸率%	2008年度	2009年度	
			10億円	伸率%	10億円	伸率%					
総額	74,904	+9.4%	42,110	+16.1%	34,834	9.9%	76,943	+2.7%	63,898	17.0%	
IM 01 食料品	6,035	+4.1%	3,252	+6.6%	3,003	+0.6%	6,255	+3.6%	6,092	2.6%	トウモロコシ・小麦価格は上半期に高騰した後、下落に転じた。野菜は中国からの輸入が減少傾向持続。
01a 魚介類	1,478	6.6%	744	0.2%	717	2.1%	1,461	1.1%	1,404	3.9%	エビは現地加工が進んでおり生鮮・冷凍品は減少基調。マグロは、漁獲制限、原燃料費高騰により価格高騰、輸入数量は減少。
01b 肉類	1,017	+4.0%	560	+6.8%	508	+3.1%	1,068	+5.0%	1,099	+2.9%	豚肉は需要拡大により堅調に推移。牛肉は米国からの輸入停止に伴い減少基調が継続。鶏肉は割安なブラジル産鶏肉の需要が高まり増加。
IM 02 原料品	5,595	+11.9%	2,979	+0.3%	1,800	31.5%	4,779	14.6%	3,050	36.2%	鉄鉱石は価格要因で輸入金額が増加、非鉄金属鉱は円高と市況下落により価格が大幅下落。
02a 鉄鉱石	1,071	+21.9%	696	+32.5%	656	+20.2%	1,352	+26.3%	975	27.9%	市況悪化に伴い減産。
02b 非鉄金属鉱	2,037	+12.3%	937	18.2%	330	63.0%	1,267	37.8%	689	45.6%	銅精鉱輸入量は前年と同水準。
IM 03 鉱物性燃料	22,235	+20.5%	15,450	+59.8%	11,100	11.7%	26,550	+19.4%	17,591	33.7%	下半期にはエネルギー価格の下落、円高の影響、景気の減速に伴う需要の減少によって、輸入金額の伸びは上半期よりも大幅に鈍化。
03a 原油及び粗油	13,692	+20.5%	9,348	+60.5%	5,601	28.8%	14,949	+9.2%	9,787	34.5%	下半期にはWTIの価格下落の影響により中東ODD原油価格も大幅に下落、国内経済の減速を反映し輸入数量も減少するも、輸入金額は大幅に減少。
03b 石油製品	2,120	+17.5%	1,351	+42.3%	940	19.7%	2,291	+8.1%	1,560	31.9%	原油価格の下落とともに石油製品価格も下落、石油製品の需要も減少し始めているため、下半期の輸入金額は減少に転じる。
03c LNG	3,476	+27.3%	2,362	+56.8%	2,500	+26.9%	4,862	+39.9%	3,120	35.8%	上半期は電力向けスポット需要増で輸入数量が増加した。下半期の輸入数量は微増にとどまる(0.3%増)、LNG価格は原油価格の下落に伴い下落する。
03d LPG	1,095	+22.4%	593	+24.3%	473	23.5%	1,065	2.7%	863	19.0%	輸入数量は1,300万t(5.3%減)、輸入価格は2.7%上昇となり、輸入金額は1兆650億円(2.7%減)。
03e 石炭	1,775	+10.4%	1,725	+97.5%	1,534	+70.2%	3,260	+83.7%	2,119	35.0%	原料炭は国内鉄鋼生産が高水準を維持している間は堅調な伸びを続けていたが、鋼材市況の軟化から減産の動きが広がるにつれてピークアウト、一般炭も石炭火力発電所の能力限界から頭打ち。ドル建て価格は、原料炭、一般炭のいずれも前年度比高水準にあるものの、一般炭スポット価格は需給緩和ですでに急落。
IM 04 化学製品	5,517	+8.2%	2,962	+9.0%	2,872	+2.6%	5,833	+5.7%	5,890	+1.0%	世界的な景気減速は日本国内の景気にも波及すると考えられ、08年度下半期以降は実需が弱含み、他方、円高の動きが輸入を押し上げる効果をもたらすとも考えられ、08年度では増加。
IM 05 原料別製品	7,328	+6.6%	3,998	+5.2%	2,700	23.4%	6,698	8.6%	5,200	22.4%	上半期には鉄鋼、非鉄金属などの原料が増加したが、下半期は建築関連中心とする国内需要減退に国際市況下落と円高が加わり減少。
05a 鉄鋼	964	+16.0%	655	+26.2%	350	21.4%	1,005	+4.2%	620	38.3%	下半期からの需要の急速な鈍化に対し、中国・韓国・台湾の各国ミル材の価格は軒並み足下で大幅に下落、まだ底が見えない。下半期は、国内市況と国際市況の乖離により一時的に輸入量が増加する局面もあるが、国内需要は建設・土木業の不振と製造業の生産調整を受け今後大幅な減少が見込まれ、下半期数量は340万t程度、価格は国内市況の下落幅よりさらに大きい115%安程度。
05b 非鉄金属	2,617	+12.5%	1,459	+7.7%	810	35.8%	2,269	13.3%	1,550	31.7%	アルミ及び同合金は、上半期まで堅調ながら、下半期以降は需要減・相場下落の影響から、輸入金額は大幅減。白金族の金属も下半期は上半期比で価格半減する影響が大きい。
05c 織物用糸・繊維製品	731	+1.7%	368	1.3%	351	2.0%	719	1.6%	702	2.4%	原材料価格の高騰や中国における人件費上昇などコストアップ要因はあるものの、円高方向に反転した影響で円ベースの輸入価格が低下した効果もあり、輸入数量は比較的堅調に拡大。
05d 非金属鉱物製品	715	0.9%	359	0.1%	340	4.5%	699	2.3%	700	+0.2%	ガラス及び同製品は、上半期に一部ガラスメーカーによる緊急措置的な輸入対応で輸入数量が増加したが、8月ごろから通常ペースに、しかし、世界的な景気減速により近隣諸国(特に中国、韓国)の需給が続いているため、低価格による日本への輸出が増加する可能性も否定できない。
IM 06 一般機械	6,459	+2.7%	3,113	3.9%	3,066	4.8%	6,179	4.3%	5,982	3.2%	電算機類及びその部品、原動機、半導体等製造装置は下半期も輸入金額減少。
06a 電算機類(含周辺機器)	1,852	8.1%	875	3.0%	903	5.0%	1,777	4.0%	1,727	2.8%	いわゆる「5万円パソコン」と呼ばれる低価格のミニノートPCのヒットなどから数量では底打ち。
IM 07 電気機器	9,303	+5.3%	4,387	4.2%	4,440	6.0%	8,827	5.1%	8,536	3.3%	半導体等電子部品はメモリーを中心に価格下落が続く、輸入金額は減少。映像機器は、北京五輪前からテレビの需要が振るわず、通信機も、iPhone発売前後の7月に輸入増加した後は減少基調。
07a 半導体等電子部品	2,814	3.0%	1,298	8.0%	1,241	11.5%	2,539	9.8%	2,412	5.0%	ICの輸入数量は、上半期は07年度を上回るも、メモリーを中心に価格下落が続く、輸入金額は減少。市況悪化により半導体メーカーは減産の方向へ、トランジスタも、引き合いが強まるものの、最終製品価格の下落圧力により価格低下基調。
IM 08 輸送用機器	2,580	+11.4%	1,228	3.8%	1,160	11.0%	2,387	7.5%	2,405	+0.7%	上半期の燃料高による消費の冷え込みや金融危機による資産目減りから自動車輸入が減少。航空機の引き渡しも遅れており、輸送機輸入全体が減少。
08a 自動車	920	+3.7%	383	22.6%	346	18.5%	729	20.7%	678	7.0%	燃料高による消費者心理冷え込みに加え、金融危機による資産目減りから高額所得者層の購買意欲が減退。
08b 航空機類	698	+9.9%	350	+2.6%	362	+1.3%	712	+1.9%	844	+18.5%	米国製航空機引き渡しスケジュールの遅延で微増にとどまる。
IM 09 その他	9,853	+0.6%	4,742	4.5%	4,693	4.0%	9,435	4.2%	9,152	3.0%	精密機械類のうち、液晶デバイスは数量・金額で堅調だが、全体として低下基調。その他雑製品では、プラスチック製品、玩具遊戯用具が減少。
09a 衣類・同付属品	2,748	0.5%	1,353	5.8%	1,246	5.0%	2,599	5.4%	2,453	5.6%	衣類等の輸入は、国内個人消費の低迷を受け、数量で減少傾向続く。年初来食品やガソリン等の日常生活品の値上がりで消費者心理が冷え込んでいることもあり、特に中級品の婦人服・カジュアル物の販売不振が深刻。原油料や人件費高騰による(ドルベースでの)コストアップは円高の効果によって相殺され、円建て価格は年初来低下基調に転じている。
製品輸入	41,039	+4.7%	20,430	0.7%	18,931	+8.1%	39,361	4.1%	37,165	5.8%	製品輸入比率58.2%(前年度比プラス3.6ポイント)

*金額は億円単位を四捨五入。2008年度上半期の実績は3桁速報ベース

*「↑」は前年度比増加、「↓」は減少、「↔」は横ばい(前年度比±1%未満)を表している